

=====

JVCシニアクラブ便り 2015年8月号 (No.27-4)

=====

発行：JVC シニアクラブ
会長：菅沼 喜久次

■67年ぶり、奇跡の再会

6月4日(木)、銀座「コートダジュール」で「ビクターの栄光を偲びカラオケを楽しむ会」が開催されました。この第1部として「原音探求」(生演奏とレコードとのすり替え実験報告)、第2部として、プロの講談師による講談「高柳健次郎」が演じられました。

第1部では、この会のために作成されたDVDで映像・音声を再生しながら、当時の技術者の思い出が報告されました。その演壇に立った一人が、船坂栄一さんです。そのとき、「ひょっとして彼は・・・?!」と感じたのが、会場でその話を聴いていた柴崎等さんでした。

その後の懇親会の中で、柴崎さんは船坂さんに声をかけて、間違いなく小学校の同級生であったことが確かめられました。お二人は、同じ会社にながら仕事上では出会うこともなく、寿会でのゴルフや、シニアクラブでの行事に何度か一緒に参加していたのですが、お互いにそれと気がつくことはありませんでした。

お二人からお話をうかがうと、終戦直後、被災者の避難住居施設となっていた京急谷津坂(現:能見台)の日平産業の寮で暮らし、近くの富岡小学校に通ったとのこと。夏には日平産業の敷地内にあった池に飛び込み、一緒に泳いだ遊び仲間であったそうです。

昭和23年、転校のため小学校5年のときに別れて以来の67年ぶり、この会が奇跡の再会の場となりました。



前列左から2人目船坂さん、後列右から3人目柴崎さん

■トピックス：新国立競技場

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、メイン会場となる新国立競技場が建設されます。

一度決まった案では、ヘルメットに似た大きなスタジアムが建設されることになり、ビクタースタジオすぐそばの明治公園のところまでその敷地は拡大されて、明治公園は南側にある霞ヶ丘団地の所に移設する計画となっていました。

しかし、総工費が当初計画の2倍近くにも膨れ上がるということから、建設は白紙見直しとなりました。

今年7月現在、国立競技場跡は更地となり、明治公園は資材置き場と化していました。写真の枠で囲った敷地全体が新競技場となる予定です。

1958年のアジア大会で初めて使用され、1964年の東京オリンピックのメインスタジアムとなった国立競技場が建設された当時、この周辺地域が整備され、団地も建築されました。

しかし半世紀も経て、建物は老朽化し、新国立競技場建設計画に押し出されるようにして、この団地は撤去されることになります。オリンピック招致に喜ぶ人がある反面、そこに住む人たちには、団地の移転反対を唱える声もあり、複雑な問題を抱えているようです。



■支部活動報告（5月～7月）

① 5月23日（土）茨城支部行事 歴史散策

ボランティアガイドによる石岡の古い街並み歴史学習と風土記の丘散策。寿会茨城支部と共催。

参加11名（内、シニアクラブ会員7名）



② 7月 2日（木）神奈川支部行事 海洋科学研究機構（JAMSTEC） 第2回見学会

第1回目の参加希望者が多かったために第2回目として開催。

JAMSTEC横須賀本部にて、研究活動の説明ビデオ上映、高圧実験水槽棟、船舶、潜水調査船など見学。海洋科学技術館では「しんかい6500」の実物大模型ほか、各種資料見学。

他支部からの参加者含め30名参加



③ 7月 6日（月）群馬支部行事 支部懇談会

今年度入会の新会員を含め、支部担当幹事と会員との懇談会&懇親会を実施。お互いの情報交換を行う。参加9名



④ 7月23日（木）千葉支部行事 江戸東京ぶらり旅

水上バスにて隅田川を下り、お台場、葛西臨海公園を経て荒川を上り、途中、荒川閘門の通過体験もある約6時間の船旅を楽しむ。

夫婦揃っての参加6組を含め21名が参加



■事務局から

（1）2枚のDVDを作成しました。

1枚目は、6月4日の「ビクターの栄光を偲びカラオケを楽しむ会」での説明資料として作成したものです。内容は、ビクターが世に出した電蓄・ステレオとレコードの歴史を述べ、“原音探求”の極みとなった「生スリ実験」の成果を述べたものです。

2枚目は、その会の中で講演された講談「高柳健次郎」です。講談師、田辺一邑先生との間で覚書を取り交わして収録が認められたものです。



いずれのDVDも、外部に出すものではなく個人的な所有も制限しておりますが、元ビクターの仲間同士の会合などで閲覧をご希望される場合は、事務局長宛に直接ご連絡ください。上映時間は ① 約20分、② 約35分です。

（2）総会案内 年会費納入のお願い

10月7日（水）開催の総会案内を別紙にて同封しました。昨年65名の会員皆様にご出席いただきましたが、今年もより多くの皆様にご参加いただけることを期待しております。

同封の返信はがきの投函とともに、年会費のお振り込みもよろしくお願いいたします。

（3）ホームページを立ち上げます

JVCシニアクラブの情報発信や会員間のコミュニケーションの場として、インターネット上に独自のホームページを開設することにしました。10月7日の総会のお披露目をするべく準備中です。ご期待ください。

事務局長 田代 周